



ゆきがふったら…



ゆきのけっしょう (E タ)

たけだ やすお かんしゅう しやしん
武田 康男 / 監修・写真
こすぎみのり こうせい ぶん
小杉 みのり / 構成・文
いわさきまよ ひと
岩崎書店



ゆきのけっしょうが生まれてから、きれいな形にな
ってふってくるまでをおった写真絵本です。けっしょう
が少しずつそだつようすがじっくりかんさつできます。

ゆきむすめ (E サ)

うちだ りきこ さいわ
内田 莉沙子 / 再話
さとう ちゅうりょう ふくいんかんしよてん
佐藤 忠良 / 画 福音館書店



冬のある日、おじいさんとおば
あさんがゆきで女の子を作ると
その子はとつぜんうごきました。ふたりはよるこんで
ゆきむすめのせわをします。やがて冬がおわり、春がやっ
てきましたが…。少しせつないロシアの昔話です。

はたらきもののじよせつしゃけいていー

(E バ) ばーじにあ・リー・ばーとん / ぶんとえ
いしい ももこ / やく 福音館書店



ある冬の日、町にゆきがたくさんもっ
て、みちがとおれなくなりました。
はたらきもののけいていーは、じよせつきをつけてゆきをか
きわけ、たすけをまつ人たちのもとへすすみます。
町のようすがこまかくえがかれ、さいごにけいていーがと
おったみちのりがわかるのも見どころです。

ゆき雪のふしぎ (E イ)

いしがき わたる / え、ふるかわ よしのり / かんしゅう
マイルスタッフ

ゆきは私たちの生活にいろいろなめぐみをもたらしてく
れています。ちきゅうにたくさんの生きものがいるのも、ゆ
きのえいきょうがあるそうです。そんなゆきについてくわし
くなる科学絵本です。さいごにくわしいかいせつ付き。

ぞうくんのおおゆきさんぼ (E ナ)

なかの ひろたか / さく・え
ふくいんかんしよてん
福音館書店



きょうはおおゆき。ぞうくんがさんぼ
にでかけると、せなかにたくさんゆきが
つもったので、みんなに見せに行くことにします。
ながくよみつがれている「ぞうくんのさんぼ」シリーズ
のあたらしいおはなしです。

ゆうかなアイリーン (E ス)

ウィリアム・スタイグ / 作、おがわ えつこ / 訳
セーラー出版

かぜをひいたおかあさんの代わりに、とどけものをするこ
とにしたアイリーン。ところが、外はゆきと風ががよく、な
かなかすすめません。ついには、とどけものが吹きとばされ
てしまいます。さらにアイリーンは道にまよってしまい…。
どんなときもあきらめないアイリーンにゆうきがもらえる
おはなしです。

「イグルー」をつくる (383 ス)

ウーリ・ステルツァー / 写真と文
千葉 茂樹 / 訳 あすなる書房



ほっきよくに住むイヌイットの人は
むかしからイグルーというゆきの家を作ってきました。
この本では、そのイグルーの作りかたを写真でしようか
いしています。さむさがきびしいばしょでもたくましく生きる
人々のちえがかんじられる一冊です。

スキーをはいたねこのヘンリー (E イ)

メリー・カルホーン / 文、エリック・イングラハム / 絵
いのくま ようこ / やく 猪熊 葉子 / 訳 リブリオ出版

ねこのヘンリーは、うちのひとといっしょにくるまで山ごや
へスキーに行きました。ところが、ヘンリーのふちゆういで
かえりのくるまにのれず、山におきざりにされてしまいま
す。ヘンリーはスキーでかえることにしましたが、とちゅう
でコヨーテにおわれ…。ぶじうちにかえられるでしょうか？

ゆき雪の写真家ベントレー (E ア)

ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン / 作
メアリー・アゼアリアン / 絵

千葉 茂樹 / 訳 BL 出版



ゆきが大好きなウィリーは、ほかの子ど
もたちがゆきあそびをする中でも、けっし
ょうをかんさつするのにいっしょうけんめい。そんなウィ
リーが、ゆうめいなゆきの写真家になるまでをえがいた伝記
絵本です。きれいなはながもぜひじっくり見てくださいね。